

# 芝生用除草剤



# スパータ® 顆粒水和剤



**狙った獲物は逃がさない。**  
イネ科雑草とヒメクグを  
ダブルでブロック

(製品規格：500g×8袋)

製造販売  株式会社 理研グリーン



製品規格  
500g×8袋  
®：クミアイ化学工業登録商標

## 芝生用除草剤

### 適用雑草と使用方法

(平成27年2月18日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		使用方法	総使用回数*
			薬量	希釈水量		
日本芝	一年生イネ科雑草	芝生育期 (雑草発生前)	0.15~0.3 g/m <sup>2</sup>	200~300 ml/m <sup>2</sup>	全面 土壌散布	3回以内
西洋芝 (パーミュダグラス)		秋冬期芝生育期 (雑草発生前)				
	メシバ	春夏期芝生育期 (メシバ発生前)				
日本芝 (こうらいしば)	ヒメクグ	春夏期芝生育期 (ヒメクグ発生前~発生初期)				

\*本剤およびフェノキサスルホンを含む農薬の総使用回数

### 有効成分と性状

成分	フェノキサスルホン.....75.0% 【3-[(2,5-ジクロロ-4-エトキシベンジル)スルホニル]-4,5-ジヒドロ-5,5-ジメチル-1,2-オキサゾール] 鉱物質微粉等.....25.0%
性状	淡褐色水和性細粒

### 人畜・水産動植物に対する安全性

#### ●人畜毒性

普通物(毒物・劇物に該当しないものを指している通称)		
急性経口毒性試験	ラット♀	LD <sub>50</sub> :>2000mg/kg
急性経皮毒性試験	ラット♂♀	LD <sub>50</sub> :>2000mg/kg

#### ⚠️ 効果・薬害等の注意

- 本剤は雑草発生前の散布が有効なので、時期を失しないよう均一に散布してください。
- 激しい降雨が予想されるときは使用を避けてください。(効果)
- ヒメクグに使用する場合は、1回目はヒメクグ発生前に散布し、反復処理をする場合はヒメクグ発生前から発生初期に散布してください。尚、発生初期のヒメクグに対しては低薬量では効果が劣る場合があるので、所定の高薬量で使用してください。
- 適用作物、使用量、使用時期、使用方法を守って下さい。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

- ★ラベルをよく読む。 ★記載以外には使用しない。 ★小児の手の届く所には置かない。
- ★空袋は圃場などに放置せず適切に処理する。 ★保管時は密封し、直射日光をさける。食品と区別して、冷蔵・乾燥した所に保管する。

#### ●水産動植物に対する影響

コイ	LD <sub>50</sub> :>1000mg/l (96h)
オオミジンコ	EC <sub>50</sub> :>1000mg/l (48h)
藻類	EbC <sub>50</sub> :>0.00207mg/l (0-72h)

#### ⚠️ 安全使用上の注意

- 眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。(刺激性)
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするとともに衣服を換えてください。作業時の衣服などは他と分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園等で使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせないでください。小児、人畜等に留意してください。
- 河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意してください。(藻類)

製造販売元  株式会社 理研グリーン  
〒110-8520 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 8F  
TEL.03(6802)8571 FAX.03(6802)8577 http://www.rikengreen.co.jp

株理研グリーン・パートナーショップ

札幌駐在 TEL.011(595)7401 FAX.011(595)7402 大阪支店 TEL.06(6871)1691 FAX.06(6871)1811  
仙台支店 TEL.022(222)9599 FAX.022(267)6505 福岡営業所 TEL.092(752)8391 FAX.092(752)8392  
東京支店 TEL.03(6802)8943 FAX.03(6802)8953 クリーン研究所 TEL.0538(58)1282 FAX.0538(58)1714  
静岡支店 TEL.054(283)5555 FAX.054(284)1769 福田工場 TEL.0538(55)5108 FAX.0538(55)5104  
名古屋支店 TEL.052(218)3060 FAX.052(218)3061

# スパータ<sup>®</sup> 顆粒水和剤

## 特長

### 発生前の一年生イネ科雑草を防除

スズメノカタビラ、メヒシバなどのイネ科雑草に対して高い土壌処理効果を発揮します。

### 除草剤低感受性ヒメクグにも卓効

ヒメクグ(発生前~初期)に対し、連続処理による高い効果が期待できます。

### 日本芝、バミューダグラスに対する安全性が高い

暖地型芝草に安心して使用できます。

#### 作用機構 ▶ VLCFAE阻害

吸収部位は植物の幼芽部で、クチクラ等の主成分である超長鎖脂肪酸を合成する酵素(VLCFAE)の働きを阻害して植物体を枯死に至らしめます。

#### 殺草スペクトラム(発生前)

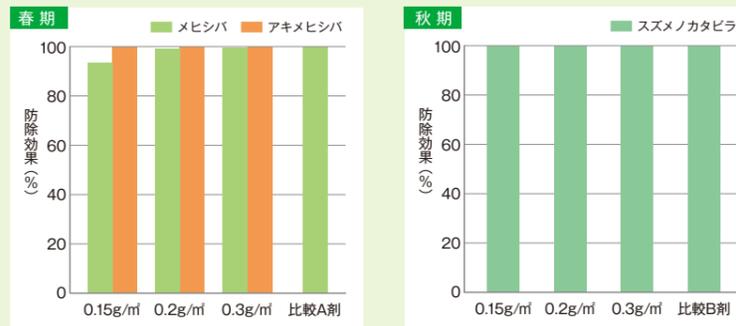
科名	種名	供試薬量		
		0.15 g/m <sup>2</sup>	0.2 g/m <sup>2</sup>	0.3 g/m <sup>2</sup>
イネ科	スズメノカタビラ	●	●	●
	ハルガヤ	●	●	●
	メヒシバ	◎	●	●
	オヒシバ	◎	●	●
	エノコログサ	◎	●	●
	スズメノヒエ	◎	●	●
キク科	オオアレチノギク	×	△	○
	ヒメムカシヨモギ	×	△	○
マメ科	ヤハズソウ	×	×	△
	スズメノエンドウ	×	△	△
	シロツメクサ	×	△	△
シソ科	ホトケノザ	×	△	△
アブラナ科	タネツケバナ	×	△	△
ナデシコ科	ハコベ	○	○	◎
	オランダミミナグサ	○	◎	●
ゴマノハグサ科	タチイヌフグリ	×	△	△
カヤツリグサ科	ヒメクグ	●	●	●
	カヤツリグサ	●	●	●

除草効果：● 極大(100%)  
 ◎ 極大(99~90%)  
 ○ 大(89~80%)  
 ◐ 中(79~60%)  
 △ 小(59~40%)  
 × 無(39%以下)

機理研グリーン グリーン研究所

#### 除草効果

##### ① イネ科雑草に対する除草効果

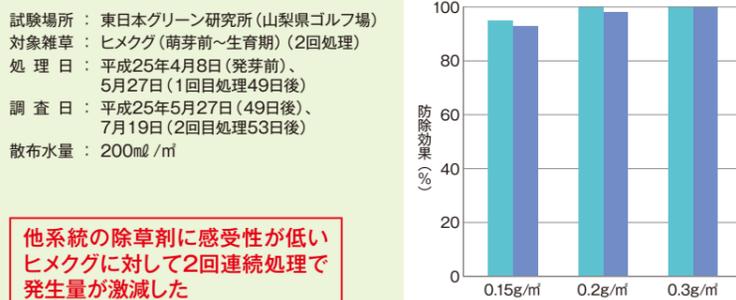


試験場所：植調埼玉試験地(埼玉県内園場) 供試薬剤：スパータ顆粒水和剤 処理日：平成25年4月21日 調査日：平成25年8月7日(処理108日後) 散布水量：200m<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>(展着剤なし)

試験場所：植調福岡試験地(福岡県ゴルフ場) 供試薬剤：スパータ顆粒水和剤 処理日：平成24年10月1日 調査日：平成25年2月20日(処理142日後) 散布水量：200m<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>(展着剤なし)

メヒシバ、スズメノカタビラ(発生前)に効果が高い

##### ② ヒメクグに対する除草効果



他系統の除草剤に感受性が低いヒメクグに対して2回連続処理で発生量が激減した

#### 芝生に対する影響

##### ● 萌芽期処理

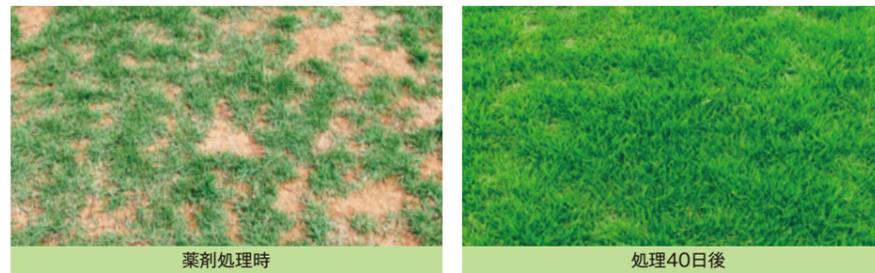
薬量 (g/m <sup>2</sup> )	水量 (mL/m <sup>2</sup> )	対象作物		
		ノシバ	コウライシバ	バミューダグラス
0.3	200	—	—	—
0.6	400	—	—	—
0.6	600	—	—	—

##### ● 高温期処理

薬量 (g/m <sup>2</sup> )	水量 (mL/m <sup>2</sup> )	対象作物		
		ノシバ	コウライシバ	バミューダグラス
0.3	200	—	—	—
0.6	400	—	—	—
0.6	600	—	—	—

表示方法：—(影響なし)、±(軽微)~+++ (強)、×(枯死)  
 試験場所：(株)理研グリーン グリーン研究所  
 処理日：平成24年4月8日(萌芽期)、8月6日(高温期)  
 調査日：各処理日90日後まで随時観察

##### ● コウライシバ剥ぎ取り後処理での影響



実施場所：生産園場 供試薬剤：スパータ顆粒水和剤 0.3g/m<sup>2</sup>(水量200m<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>)  
 処理日：平成25年7月12日(生育期) 調査日：平成25年8月20日(処理40日後)  
 試験結果：春期に芝生を剥ぎ取った箇所に薬剤を散布したが、その後の匍匐茎および根部に対する影響は見られなかった。

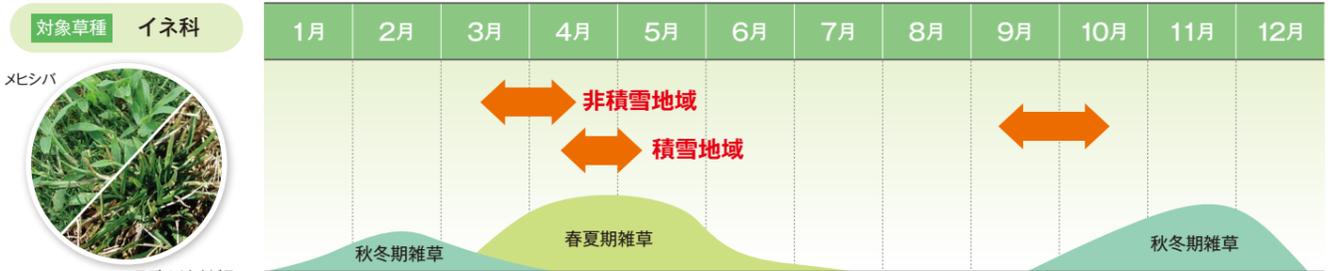
##### ● 樹木に対する影響

下記の樹木に対して安全性が高いことが確認されています。

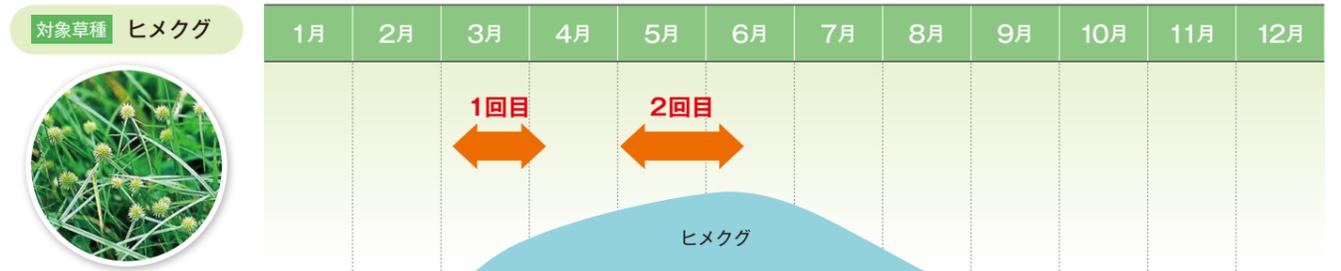
- ベニカナメモチ
- レンギョウ
- オオムラサキツツジ
- サザンカ
- ウツギ
- アメリカハナミズキ

#### 上手な使用方法

##### ● 薬剤散布適期と雑草の発生消長\*



##### ● 薬剤散布適期とヒメクグの発生消長\*



\*発生消長のモデルです。地域によって発生状況は異なります。

ポイント① イネ科は発生前、ヒメクグは発生前~発生初期までに散布して下さい。

ポイント② 状況に応じて広葉剤や茎葉処理剤を混用して下さい。

- ① 寒地型芝草に影響が有りますので、散布の際は撒き込みなどに注意して下さい。
- ② 本剤の調製時は、少量の水等で一次希釈をせず、タンクに薬剤を直接投入して下さい。